

Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital

 獨協医科大学

越谷病院だより

2013.4
23号



● 主な内容 ●

- 形成外科の設置について／院内整備計画に伴う整形外科外来の移転について **2**
- 皮膚科自由診療のご案内／選定療養費の変更について **3**
- 3. 1. 1 災害訓練実施／当院の被災者支援活動に対し加須市保健所から感謝状贈呈 **4**
- 病院への手紙／携帯電話の使用について **5**
- エコキャップ回収活動報告／外来棟1階売店(正面玄関脇)の閉店について **6**

形成外科の設置について

当院では悪性腫瘍、事故による外傷、熱傷、先天性異常などの患者様が数多く、QOLの改善を目指す上でも種々のニーズに幅広く対応できる形成外科を設置する必要性が高まっていることから、本年1月1日より「形成外科」を設置いたしました。

診療内容及び診療体制等については、下記のとおりとなります。

◆主な診療対象疾患

- ・一般外傷（擦過傷、挫創、皮膚・軟部組織欠損）
- ・顔面外傷（顔面挫創（顔の傷）、顔面骨骨折など）
- ・皮膚・軟部組織の腫瘍（母斑、粉瘤、脂肪腫、血管腫、神経鞘腫、耳下腺腫瘍など）
- ・悪性腫瘍および腫瘍切除後の再建手術（頭頸部再建）
- ・リンパ浮腫（保存的治療、手術）
- ・乳房再建（乳癌切除後）
- ・先天異常（顔面、耳、手足、臍、胸郭などの変形）
- ・褥瘡（床ずれ）、難治性潰瘍（糖尿病性壊疽、虚血性潰瘍・壊疽など）
- ・肥厚性瘢痕（傷あと）、ケロイド
- ・熱傷
- ・その他：陥入爪（巻き爪）、腋臭症（わきが）、眼瞼下垂症、陳旧性顔面神経麻痺の治療など

◆担当医師：鈴木 康敏（准教授）、堂後 京子（学内講師）

なお、当面の間、病院長が診療部長代行となります。

◆外来診療：1月21日（月）からスタートし、月曜日から金曜日となります。

◆入院診療：入院患者については、本年4月からの受入れを予定しております。

院内整備計画に伴う 整形外科外来の移転について

院内整備に伴う改修工事のため、下記のとおり、昨年末より整形外科外来を仮設棟1階に移転しております。

患者様には迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

◆整形外科外来：仮設棟1階（外来棟の北側）

*場所の詳細については、誘導案内表示が院内にありますのでそちらをご覧ください。

皮膚科自由診療のご案内

当院皮膚科では平成 24 年 12 月 1 日から陥入爪・巻き爪の治療として、自由診療にて超弾力性ワイヤー法、人工爪を用いた治療を開始しました。

なお、料金設定は下記のとおりとなります。

◆初診料	7,350 円
◆再診料	4,200 円
◆超弾性ワイヤー 1 本	1,050 円
◆人工爪（1 本）	1,050 円



この自由診療については、症状により治療方針・方法が異なりますので、詳しくは医師にご相談ください。

選定療養費の変更について

当院では他の医療機関からの紹介状をお持ちでない初診の方には、初診料の他に「選定療養費」として 2,100 円（税込）を自費でいただいておりますが、病院と診療所等の役割分担を更に推進する観点から、平成 25 年 4 月 1 日より、下記のとおり変更することとなりました。

当院といたしましては、地域における医療機関の先生方と連携し、今後も各々の役割に応じた質の高い医療の提供を行ってまいりますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

記

1. 対象者（紹介状のない患者様）

他の医療機関等からの紹介によらず、当院に直接来院された初診の患者様。

ただし、緊急その他のやむを得ない事情により、他の医療機関からの紹介によらず来院した場合にあっては、この限りではありません。

2. 変更年月日

平成 25 年 4 月 1 日（月）

3. 徴収金額（初診時のみ）

3,150 円（消費税込）

以 上

3. 1. 1 災害訓練を実施しました

当院では東日本大震災から丸2年となる平成25年3月11日、直下型の震度6強の地震を想定した災害訓練を実施しました。

今回の訓練は災害対策本部機能の明確化を目的とし、①各部門からの報告による被災状況把握、②災害レベルの決定、③トリアージポストの設置を行い、地震発生から被災者の受け入れ準備までを想定したものでありました。

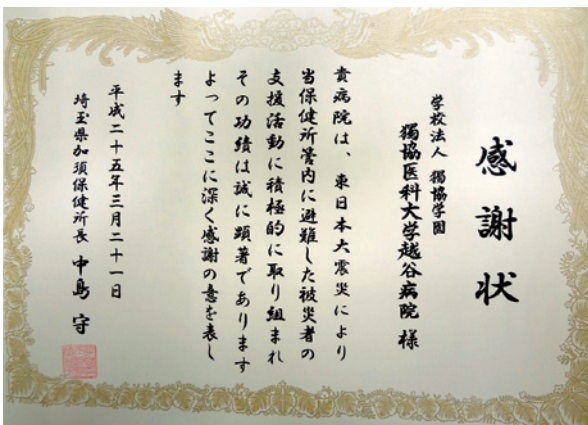
これまで定期的に行っている消防訓練では予め出火場所が設定されており、決められた各部門の行動パターンに沿って動いておりましたが、そのようなスケジュールを参加者に明らかにせず、放送に従って行動することとで、実際の震災を想定した訓練でありました。このため、放送が入らない、報告方法が煩雑などといった種々の問題点がありましたが、課題を明確にした上で今回の訓練をベースとし、災害マニュアルの策定、アクションカードの作成などを進めていく予定です。

当院では、災害拠点病院として大規模災害が発生した場合の災害医療活動が、迅速かつ円滑に実践できるよう、引き続き様々な災害を想定した訓練を行っていきたいと考えております。



当院の被災者支援活動に対し 加須市保健所から感謝状贈呈

平成23年3月の東日本大震災により、埼玉県加須市の旧騎西高等学校に避難していた福島県双葉町住民の健康管理や子どもの心のケアなどについて、加須市保健所からの要請を受け、当院救急医療科池上敬一教授と看護部松元智恵子師長を中心に、平成23年5月から11月までの19日間、延べ約200名の教職員を避難所に派遣し、被災者の健康を守り重症化を防ぐための包括的健康支援として健康診断を行ってまいりました。



今般、この被災者支援活動に高い評価をいただき、当院に対し加須保健所長から感謝状が贈呈されました。早いもので震災から2年が経過いたしました。被災地の復旧・復興はまだ道半ばであり、今後も長い時間を要すると思われまますので、当院といたしましても今後も継続して様々な形での復興支援を行っていきたいと考えております。

病院への手紙にお答えいたします

～当院の各部署に設置してあります、ご意見箱に寄せられる患者さまのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

* 入院中の食事について

<性別年齢不明>

- ・ 冬場の夕食はもう少し早く5時30分位にしてほしい。
- ・ 食事は冷めないように配膳してほしい。

お答えいたします

当院では厚生労働省の指導による入院時食事療法設置基準に従い、適時・適温給食を実施しております。配膳については、中央配膳によるクックサービス方式を採用しており、各病棟決められた時間内に盛り付けし、速やかに配膳できるよう心がけておりますが、今回何らかの理由で当該患者様の配膳に遅れが生じておりましたら大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

食事提供時間については、上記の基準に従い、朝食7時30分、昼食12時、夕食18時としておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。栄養部では、今後もより安心・安全な食事の提供を心がけ栄養管理及び給食サービスに努めてまいります。

* 院内の設備について

<性別年齢不明>

- ① 体重計をデジタル化してほしい
- ② 外来設置の血圧計に用紙が入っていない

お答えいたします

- ① 体重計は2年に1回の定期検査が義務付けられており、前回の検査では誤差等の指摘はありませんでした。しかし、針がぶれて読みづらい等の指摘がありましたので、現在、病棟・外来棟で使用中の体重計を調査し、結果によっては現場と調整の上、デジタル化等への処置を講じたいと思います。
- ② 血圧計の記録用紙がなくなった場合には、外来受付等にお申し出いただきたい旨の貼紙をしており、連絡があった場合には都度補充しております。また、2～3日ごとに経理課員が使用状況を確認し、必要があれば補充を実施しております。

携帯電話の使用について

携帯電話は病院内の一部の指定場所でご使用いただけます。それ以外の場所では電源をお切りください。

また、指定場所であってもマナーモードに切り替えて、周囲の方に迷惑のかからないようご配慮ください。

携帯電話の使用可能な指定場所は次のとおりです。

- 中央棟：8階病棟～4階病棟（エレベーター横の窓際）
- 中央棟：3階病棟（公衆電話付近）
- 北病棟：2階・3階（公衆電話付近）
- 時間外外来：……………（公衆電話付近と時間外入り口の風除室）
- 東病棟：4階～2階（公衆電話付近）
- 外来棟3階：……………（公衆電話付近）
- 外来棟2階：……………（エレベーター横の窓際）
- 外来棟1階：……………（守衛室前）

【指定場所の表示】

【使用許可エリアの表示】



大きな声での会話や写真撮影等、マナーに反する行為はご遠慮ください。

なお、“使用許可エリア”の場所であっても、近く（1m以内）に医療機器がある場合は電源をお切りください。また、携帯電話の影響があると思われる医療機器等を装着されている患者様の周辺では、使用をご遠慮願う場合がありますのでご協力をお願いいたします。

※緊急用として医療スタッフが使用している携帯電話は、医療機器への影響を与えないように非常に微弱の電波を使用したPHSを選んでおりますので、ご安心ください。

病院長

エコキャップ回収活動報告

越谷病院庶務課

当院では社会福祉及び環境保全に貢献することを目的として、昨年9月1日から、院内で消費されたペットボトルのキャップをNPO法人「キャップの貯金箱推進ネットワーク」を通じて分別・回収し、そのリサイクルによる売却益の中から発展途上国へワクチンや医療物資等を送る「エコキャップ回収活動」を開始しておりますが、昨年10月から12月分の回収状況及びワクチンへの換算は下記のとおりとなりましたのでご報告いたします。

< 10 月分 >

重量	個数	ワクチン	合計
23.60kg	9,440 個	ポリオ（小児麻痺）	11.8 人分

< 11 ~ 12 月分 >

重量	個数	ワクチン	合計
43.80kg	17,520 個	ポリオ（小児麻痺）	21.9 人分

キャップの回収BOXについては、中央棟1階売店前や中庭など計3箇所の自動販売機脇に設置し、教職員並びに患者様等、来院者の方々に協力を呼び掛けております。

私たちでも困っている人たちのために出来ることがあるという思いで、より多くのキャップを集めていきたいと考えておりますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



外来棟1階売店（正面玄関脇）の閉店について

標記売店については、開院以来長年に亘り患者様を始めとする来院者にご利用いただいておりますが、正面玄関ホール全体を先の東日本大震災のような最大規模災害やこれに準じる事態が発生した場合に、緊急診療を行う場所としての診療区域とするため平成25年3月30日（土）をもって閉店することとなりました。

（中央棟1階の売店は、引き続き営業いたします。）

大変ご迷惑をお掛けしますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

